

株式会社 富士メガネ (Fuji Optical Co., Ltd.)

Communication on Progress

2012 年度

* 対象期間: 2012 年 1 月～2012 年 12 月まで

連絡先

株式会社 富士メガネ 総務部 マネージャー 鈴木 裕子 (スズキ ヒロコ)

Email: suzuki@fujimegane.co.jp 電話: +81-11-221-3194 Fax: +81-11-222-1861

会社概要

会社名:株式会社 富士メガネ

本社所在地:〒060-0061 札幌市中央区南2条西1丁目3番地 北専ビル9階

従業員数:523 名(2013 年 1 月 1 日現在)

正社員 446 名(男性 311 名、女性 135 名)

パート社員 77 名(男性 6 名、女性 71 名)(比率 14.7%)

事業内容: メガネ、サングラス、補聴器、メガネ付属品等の販売及び修理

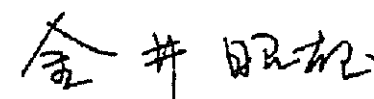
トップステイメント

弊社は2004年12月にグローバル・コンパクトに加盟しました。

グローバル・コンパクトで世界的に確立された10原則を支持し、企業活動を進めて参ります。

本年度の活動としては、UNHCRとのパートナーシップによる通算第30回海外難民視力支援活動をアゼルバイジャンで実施した他、UNHCRケニア事務の要請を受け、ソマリア難民らにメガネを寄贈。弊社の海外難民視力支援活動30周年を記念して、世界の難民の教育支援を目的とし、10万ドルをUNHCRに寄付致しました。

ジャパン・ネットワークのメンバーとしては、理事企業としての加盟を継続、更新されたホームページで紹介されるサステイナブルな社会の実現に向けた本業を通じた取り組みについて、UNHCRとのパートナーシップによる海外難民視力支援活動を掲載していただきました。



代表取締役会長・社長兼任 金井 昭雄

2013年3月20日

グローバル・コンパクト 10 原則

- | | | |
|------|-------|----------------------------------|
| 人権 | 企業は、 | |
| | 原則1: | 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 |
| | 原則2: | 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。 |
| 労働基準 | 企業は、 | |
| | 原則3: | 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 |
| | 原則4: | あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 |
| | 原則5: | 児童労働の実効的な廃止を支持し、 |
| | 原則6: | 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。 |
| 環境 | 企業は、 | |
| | 原則7: | 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 |
| | 原則8: | 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 |
| | 原則9: | 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。 |
| 腐敗防止 | 企業は、 | |
| | 原則10: | 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。 |

人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>人権教育 新入社員研修で1回実施</p>	◎	<p>新入社員研修に加え、全店営業研修会で1回実施</p>
<p>UNHCR とのパートナーシップによる 海外視力支援活動の実施(1回) 於: アゼルバイジャン共和国</p>	◎	<p>同国で国内避難民・難民を対象に同規模で実施(継続)</p>
<p>ケニアへのメガネの寄贈 (新しいメガネ 2,000 組)</p>	◎	<p>要請に応じて実施 ネパールへのメガネの寄贈(新しいメガネ 820 組)</p>
<p>世界の難民の教育支援を目的として寄付 (海外難民視力支援活動 30 周年を記念) 10 万米ドル</p>	◎	
<p>全社における「国連難民」募金活動 全社総額とりまとめ、送金(年1回)</p>	◎	<p>継続的に実施</p>
<p>全社で UNHCR 広報ポスター掲示、全店で啓蒙 DVD 放映</p>	◎	<p>継続的に実施</p>

海外視力支援・眼鏡寄贈活動事例紹介 社外講演(9 回実施)	◎	要請に応じ、継続実施
北海道の盲導犬育成募金への協力(本包含む)69 箇所に募金箱(「ミーナの募金箱」)を設置、全社総額をとりまとめ送金(年 1 回)	◎	継続的に実施。新規開設店舗(溝ノ口店)含め 70 箇所への設置へ
中国残留日本人孤児への眼鏡寄贈(視力検査、フレーム選定、寄贈) 2 名の方にそれぞれ一組を寄贈	◎	要請に応じ、継続実施
独立店舗に於けるバリアフリートイレの設置 一店舗追加:新さっぽろ店 独立店舗 23 店舗中、設置店舗 13 店舗に(57%)	○	継続的に実施

労働基準分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	評価	来年度の活動目標・内容
<p>出産・育児・介護支援</p> <p>出産・育児休業制度取得支援 実数 6 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>育児時間短縮勤務制度取得支援 実数 8 名が取得(対象者の 90%)</p> <p>子の看護制度、介護制度取得支援 取得者 なし(対象者なし)</p> <p>有給休暇取得奨励</p> <p>有休取得のべ人数 前年同数以上 (昨年比 12 名減、91.8%)</p> <p>有休取得日数 前年同数以上 (昨年比 465 日増、133.5%) 取得日数は全休暇日数の 9.7% (昨年から 2.3%増)</p> <p>時間単位有給休暇取得奨励 112 名取得／359 時間</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>必要に応じ、取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>来年度は有給休暇保有者の半数以上が 休暇を取得するよう奨励</p> <p>来年度は全体の有給休暇使用日数が 10%以 上になるよう奨励</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p>

環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	評価	来年度の活動目標・内容
<p>地球温暖化の防止</p> <p>アリオ札幌店の移転・改装に伴い、交換可能な店舗内の照明器具を LED に交換。全照明の 62.7%が LED に</p> <p>円山店の増床及び改装に伴い、店舗内の照明器具を LED に交換(100%)</p> <p>狸小路本店の改装に伴い、店舗部分(1 階から 3 階の店内照明器具を LED に交換。店舗ビル内照明の 70.0%が LED に</p> <p>イトーヨーカドー横浜上永谷店の改装に伴い、交換可能な店舗内照明器具を LED に交換。全照明の 76.1%が LED に</p> <p>伏古店駐車場照明、入り口及び店舗内照明器具を LED に交換(100%)</p> <p>イオン発寒店の交換可能な店舗内照明を LED に交換。全照明の 86.7%が LED に</p>	◎	<p>店舗改装時、看板照明器具修繕・交換時及び随時、省エネ効果の高い照明器具への交換を積極的に推進する</p> <p>* 2012 年末現在、69 店舗中、14 店舗で照明器具を LED に交換</p> <p>* 2013 年 1 月以降の実施予定店舗： イトーヨーカドー武蔵境店、小樽店、栄町店、厚別西友店、新琴似店(5 店舗)</p>

<p>自転車共同利用サービス「ポロクル」専用の駐輪場(サイクルポート)設置に協力</p>	<p>◎</p>	<p>円山店駐車場敷地内にサービス期間内(冬季除く)設置。継続</p>
--	----------	-------------------------------------

腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	評価	来年度の活動目標・内容
<p>社員行動における腐敗防止の徹底 「公務員、取引先との贈答接待等は、法令や社会通念に逸脱して行わない」を役員、全店長を対象に都度徹底の指導</p>	○	<p>引き続き、役員・社員教育の継続、告知を徹底する</p>

このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のウェブサイトに掲載する
 (2013 年 3 月 25 日公開済み)